

大阪市教

2016年12月1日
VOL. 531

発行 大阪市学校園教職員組合
大阪府中央区法円堀1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990



「キッズフェスタ」葛城山に40人 「公立幼稚園なくさないで」

大阪市教幼稚園部主催のキッズフェスタが11月12日にあり、葛城山に登ってきました。一番下は1歳児(お父さんに背負われて)の山登りでした。から上は60歳?まで幅広い参加者で、総勢40人以上で、晴れた秋の日の山登りを満喫してきました。当日はボランティアとして、短大の幼児教育科の男子学生も4人参加。子ども達の良きお兄さん役になっていました。参加されたお母さんからは、「幼稚園の時に参加して楽しかったので、今年も楽しみに参加しました。こんな取り組みは公立幼稚園ならではですね。公立幼稚園を今後も無くさないでほしいです!」と力強い言葉をもらいました。大阪市の公立幼稚園を守る力にしていきたいと思えます。



事務職員部レク
11月19日

若手J-IMUの会 事務職員部レクも

大阪市内版若手J-IMU職員の会は「学校のお金のこと、考えてみよう!」をテーマに、今年度3回目を開催しました。学校のお金は、「公費」「私費」があり、公私の区分は、何で決まっているのかを参加者で確認した後、徴収金から公費化したこれまでの経験を出し合いました。組合も長

年、保護者負担軽減として、公費増額や古くは諸用紙費、粘土などの実験実習材料費をはじめ名札の公費化などの取り組みをしてきたことを紹介。「校費と徴収金の予算作成にあたって共通理解」プリントで教職員に呼びかけている学校。校章組章を使い回すことで校費化している学校。トイレの自動電灯設置で電気代縮減を考えている学校などそれぞれの取り組みを交流しました。学校のお金の話は尽きませんが、「学校事務の仕事の魅力」が書かれたレポートを紹介してお開きとなりました。事務レクは、天王寺から阪堺電車にゆ

られること半時間、御陵前で下車し、南宗寺から宿院頓首、千利休屋敷跡、さかい利晶の杜と堺をぶらっと歩いてきました。南宗寺では、観光ボランティアさんから丁寧な説明を受けて、堺自治都市の成り立ちや徳川家康

Xmas 堺の青年と 早めのパーティー

逝去にまつわる戦国時代の秘話など興味深い内容でした。さかい利晶の杜では、関西文化の日特例で無料入館させてもらい、千利休と与謝野晶子の作品など、まさに関西文化に触れた半日でした。

堺教組、大阪市教青年部合同の交流会を11月22日に行い22人の参加でした。少し早いですが、おいしい食事とクリスマス気分を味わいながら、それぞれの活動紹介やビンゴゲームをし、たくさん交流できました。

組合加入を訴えること、はじめは「組合はよくわからないから」と話していましたが、「今後、学びの会や青年フェスタなどの行事でぜひよく知ってほしい」と話すと、「ぜひ誘ってほしい」と、大教済に加入。何がきっかけで、組合を知り、興味を持ってくれるのかと悩むこともありました。今年、今も改め、交流会や学習会を広く多く開いて、知る機会を作っていくことの大切さを感じました。堺と大阪市で「つながりを広げるため」に意見を出し合ったり、協力し合ったりできてもよかったです。

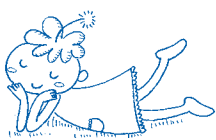
たんぽぽ だより

12月

12月になり、年末で学校も生活でも忙しい時期になりました。1年の疲れも出てくるころではないでしょうか。冬休みまであとひとがんばり!!
たくさんお仕事があると、子ども

ことで次の日は気持ちリセットされるものです。学習会なども設け、足りない知識を楽しく学んで増やす機会もあります。2月18日、19日には青年フェスタがあります(貸面観光ホテル)。小・中・特別支援・高のレポート発表、絵本・音楽・工作・作文・アイ

又の踊り・臨時教職員などの講座もあります。大阪の青年が大集合する貴重で楽しい日です。青年同士の繋がりを増やしていきますよ。



特別支援学級増を 設置要望書を市教委提出

よろず相談会 12月16日19時
アネックスパル法円坂

特別支援教育が始まり、今年10年目。障害児学級在籍の子どもが増え続けています。昨年度、大阪市の障害児学級に在籍する子どもの数は10年前の1.88倍となりました。それに対して教員数は1.62倍に留まっています。また、在籍する子どもの障害が多様になり、障害児学級運営の困難が増しています。高校進学も視野に入れた発達障害の子どもの支援する一方で、発語もままならない子どもや、生命維持の医療的ケアを必要とする子どもの支援もする実態があります。在籍の増加に応じた障害児学級の増設と子どもの実態に即した加配

教員等の配置が早急に必要です。障害児教育部では各学校の特別支援学級増設を求め、「特別支援学級設置要望書」を市教委に提出します。障害のある子どもたちの発達障害に向けて、力を合わせて闘いましょう。

地下鉄・バス民営化反対

なんでも民営化で大阪市廃止

大阪市営交通の会と大阪府対連、大阪市をよくする会の3団体は市本会議が開かれた11月15日、「地下鉄・市バスの民営化反対」をきっかけ集会・市役所周辺パレードを行い100人が参加しました。

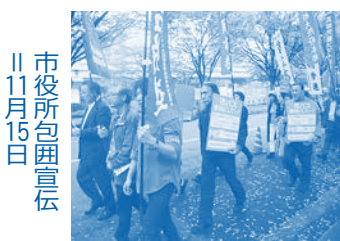
なんでも民営化

「ホームからの転落事故が全国で相次いでいるなか、関西の私鉄でもホーム柵の設置を検討している(陣連協)」、「高齢者、障害者の身近

な、日常的な市バスを守っていかねばならない。赤バス復活を(年金者組合)などと訴えました。開会中の市議会に提案されている民営化基本方針案(手続き条例)について自民党は「大阪市への12の提言を提出し、「市長大半了承」(9月27日付朝日)と報じられています。自民党は「①大阪市の100%株式会社化」を重視し、「今回、議会の2分の1の賛成で可決する手続き条例で基本方針に賛成しても、今後3分の2の賛成で可決する廃止条例の際には、新たな判断が必要」としています。12月13日の本会議での成立を許さないため「市営交通の発展を求め、5万署名・宣伝活動が平野区(写真)をはじめ各区で続けられています。

民営化・株売却 カジノの資金

同日の本会議で「2025日本万国博覧会の大坂誘致に対する決議」が共産党を除く賛成多数で可決されました。橋下前市長は「株売却で地下鉄に投じたお金を回収し、再投資に回せる。いわゆる錬金術だ」(13年11月)と言いましたが、シンガポールのカジノを視察した吉村市長も、市民の財産を売るとはし、大阪市を廃止・解体して「都構想」へつきますよと述べています。



市役所包圍宣伝
11月15日



平野区宣伝行動
11月5日

第28回 青年フェスタ
●2017年 2月18日19日
●記念講演 奥田愛基さん (元SEALDs)